

東アジアジュニアワークショップ 2013 感想

伊藤志帆 京都大学

1. フィールドワークに関して

暑い中の移動でしたが、だれも熱中症にならずよかったです。

案内するにあたって準備したり、韓国や台湾の人の質問を聞くと自分でも新たな発見や視点が見つかり、とても有意義でした。ただ2日目はみんなだいぶへばっていたので、ほかの日と同じように半日室内、半日外出というのがベストなのかもしれません。

原発以外の場所に関しては解説資料がありましたが、原発に関しては基礎知識の解説資料がなかったので(震災以降の原発事故の経緯など)わかりにくかったのかもしれません。

2. ワークショップに関して

参加者のプレゼンの仕方や内容など、刺激を沢山受けました。私は英語で発表するのは初めてだったので、とてもよい機会でした。国は違っても抱えている問題には共通点があると感じました。

3. 受け入れなど準備に関して

発表の準備をもっと早くから進めておけばよかったと思います。

前期の期間中にプレゼンと発表原稿を完成させておくのがベストだと思いました。

フィールドワークのプランに関しては、参加校の生徒の興味関心のある分野をあらかじめ聞いておくと、参考にできていいと思います。

ホスト校としての仕事はたいへんでしたが、参加できて本当に良かったと思います。